

# ブック・レポート

富山ユネスコ協会青年部

2021年8月19日 (No.2)

## 1. 第89回青空古本市 (2021年5月)

青空古本市の準備は先ず、会場の布瀬南公園の使用許可を取る必要がある。1か月を超えた許可は下りないので、4月初旬に5月初旬の許可を取り、5月初旬に後半の許可を取る。いつものように富山市役所6階の公園緑地課で申請書を書いていると今回から押印の必要がなくなっていた。押印廃止の影響がこんなところにも現れている。市役所の地下駐車場から6階まで歩いて往復するのはちょっと運動になる。

4月29日付けの毎日新聞に「2年ぶりに春の古本市」(青山郁子記者)のタイトルで記事が載る。

2020年5月は新型コロナウイルス感染拡大のため中止になり、春の古本市が2年ぶりに開かれる様子が載った。

第89回青空古本市の初日、5月2日(日)は雨で中止、初日の中止は痛い。

5月3日(月・祝)は開催するが1時過ぎに雨が降り途中で中止。12人79冊売れる。

5月4日(火・祝)富山短期大学の学生さんが2名ボランティアとしてお手伝い、33人112冊売れる。北日本新聞の川崎記者の取材を受ける。5日の北日本新聞に「文庫やアート古本6,930冊ずらり」のタイトルで写真とともに載る。

5月9日(日)朝8時頃雨が降り中止。

5月16日(日)雨のため中止。

5月23日(日)、朝、天候が怪しかったが晴れてきたので開くことができた。今回は富山国際大学の学生5名、富山短期大学学生4名の計9名方がボランティアとしてお手伝いしていただいた。提供受けた本を素早く整理して本の販売できるように並べたりして大変助かった。98人353冊売れた。



5月30日(日)最終日で午後2時で終了。28人95

冊売れた。第89回の青空古本市は天候に恵まれず、実質開催できたのは3日間だった。でも多くのボランティアの人に支えられ開催できたことはうれしい。特に富山短期大学ボランティア支援センターの松木さんにはお世話になった。今回の累計は126人448冊の販売、青空古本市の益金7,891円を日本ユネスコ協会連盟の世界寺子屋募金に送金する。

## 2. 旧北陸道アートin小杉

射水市(いみずし)の小杉で毎年9月の最終土曜日と日曜日に開催される「旧北陸道アートin小杉」に富山短期大学の東野善男教授と協力して「ユネスコ古本市withトミタンのほんだな」のコーナーを担当している。学生さんが選んだ本を販売するコーナーだ。今年の9月25日(土)・26日(日)開催に向けて、古本市に出す選書を行った。6月29日(火)ユネスコの古本倉庫で東野ゼミの学生さん23名に「トミタンのほんだな」に出す本を選んで貰(もら)った。今年で4年目になるが、去年は雨で悩まされたが、今年は天気に恵まれてスムーズに進んだ。



(本の倉庫で選書)

## 3. 第90回青空古本市に向けて

第90回青空古本市は10月3日(日)・10日(日)・17日(日)・24日(日)・31日(日)午前11時から午後4時まで、最終日は午後2時で終了。場所は布瀬南公園で開催する。

ちょっと心配なのはコロナ禍で会場の使用許可が下りるのだが、開催に向けて準備を進めていこうと思う。(池上 勁)